

平成30年度自転車重大製品事故情報<消費者庁公表>の収集について
(自転車等研究開発普及事業)

(一財)自転車産業振興協会 技術研究所

はじめに

当協会・技術研究所では、自転車等研究開発普及事業の一環として、自転車の安全利用促進に寄与することを目的として、消費者庁が公表している自転車に関連する重大事故情報を収集し、消費者に情報提供を行ったので、その概要を報告する。

平成30年度消費者庁公表の重大製品事故情報

消費者庁の重大製品事故情報は、製造事業者・輸入事業者からの事故報告を受けて公表されるが、公表の際、事故情報の分析を行い事故が製品に起因して生じたものか否かを区別して行っている。事故が製品に起因していると疑われる場合は事業者名、機種・型式、事故の内容等を、それ以外のものは事故の概要のみを消費者庁のHP等で公表している。

技術研究所では、消費者庁が公表した重大製品事故情報のうち、自転車関連情報については公表され次第、速報として技術研究所のHPに掲載して注意喚起を図っている。

平成30年度に自転車に関連した重大製品事故情報として掲載した事例は34件あった。技術研究所においてそれらを製品名により分析した内訳は、表1に示すとおりである。事故件数は前年度の35件に比べて1件減少した。製品名別では自転車の事故情報は18件で前年度より4件増加、折りたたみ自転車は2件(前年度は0件)あった。また、電動アシスト自転車は14件で前年度より7件減少した。そのうちバッテリーの充電中による火災事案が7件と前年度より3件減少した。なお、消費者庁が公表した重大製品事故情報抜粋の一覧は表2～表5に示す。

また、自転車関連の重大製品事故のうち、製品に起因していると疑われる事故は9件で前年度より1件減少した。残りの25件は製品起因か否かが特定できていないが、製品に起因していると疑われるとされた9件の事故を含め、事故調査・原因分析を継続して行っているため、今後、原因等が特定されたり、製品起因ではなかったとされる場合もある。

表1 自転車関連重大製品事故情報の分析 ()内は製品起因が疑われる事故

製品名	自転車	折りたたみ 自転車	電動アシスト自転車		合計	
			バッテリー火 災以外	バッテリー火 災		
件 数	29年度	14 (7)	0 (0)	11 (1)	10 (2)	35 (10)
	30年度	18 (7)	2 (2)	7 (0)	7 (0)	34 (9)

表1の事故内容の分類は、表2～表5の事故内容に基づいて技術研究所が独自に行ったものである。このため表1の事故内容ごとの件数は表2～表5の製品名による分類に基づく件数とは一致しない。

製品名ごとの報告内容概要〔事故内容・原因等は表2～表5を参照〕

自転車

18件の情報があり前年度より4件増加した。その事故内容は、走行中のフレーム・フロントフォークの破断（7件）、走行中に転倒（3件）、走行中にチェーンが外れて転倒（2件）、ペダル、ハンドルステム、サドルなどが脱落し転倒（3件）などの事例が報告されている。その他には前輪がパンクしたため転倒、前輪ロックにより転倒、走行中にブレーキを掛けたところ転倒の事例が1件ずつ報告されている。

折りたたみ自転車

前年度は0件であったが2件の情報があった。ハンドル付け根の破損、折りたたみヒンジ部の破断で、いずれも製品起因が疑われる事故であった。

電動アシスト自転車（バッテリー火災以外）

7件の情報があり前年度より4件減少した。走行中にサドル部が破損した事例（2件）、走行中のハンドルロック（2件）、こぎ始めにブレーキが解除されず転倒（1件）のほか、原因が特定できない走行中の転倒等が2件報告されている。

電動アシスト自転車（バッテリー火災）

リチウムイオンバッテリーの充電中等の火災事例が7件あり前年度より3件減少した。

社告（リコール等）について

平成30年度に公表された自転車関連の社告（リコール等）は5件であった。その内訳は、ハンドル及びハンドルポスト溶接部の強度不足（2件）、フロントフォークの破損（2件）、幼児2人同乗用三輪自転車の幼児用座席取り付けネジの緩み（1件）があり、経済産業省及び各社のHPにおいて情報公開されている。

おわりに

自転車重大製品事故情報を収集・整理し、それらの情報を分析した上で、必要に応じてJISの改正、技術的課題の解決、原因究明等に繋げていくことが必要であると考えます。そのため、技術研究所では自転車等研究開発普及事業の一環として、今後も自転車重大製品事故情報を収集し、分析等を加えるとともに、必要に応じて重大製品事故事例が緊急性を要するもの、或いは消費者への波及が心配されるものの原因究明調査等を行い、消費者の安全確保と品質改善に寄与していく所存である。併せて、個々の製造・販売事業者よりの試験依頼、原因究明調査にも対応していくのでご活用をお願いしたい。

以上

表2 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋(その1)

「製品起因か否かが特定できていない事故」案件については事業者名を記載していない。

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201700758	自転車	株式会社あさひ (輸入事業者)	当該製品で走行中、転倒し、左手指を負傷した。 調査の結果、当該製品の泥よけが、泥よけの変形が操縦を妨げないことを規定する JIS D9411:2010 の 9.2 の基準を満たしていなかったため、何らかの理由で泥よけ体に荷重が掛かり後輪タイヤに接触した泥よけ体が巻き込まれて後輪がロックされ、転倒したものと推定される。	製品起因が疑われる事故
A201800006	自転車	ホダカ(株)(輸入事業者)	当該製品で走行中、右ペダルが抜け転倒し負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201800030	自転車	株式会社あさひ (輸入事業者)	当該製品で走行中、トップチューブ及びダウンチューブが破損し、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201800040	電動アシスト自転車		使用者(70歳代)が当該製品で下り坂を走行中、転倒し、首を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800059	電動アシスト自転車		当該製品のバッテリーを充電中、当該製品の充電器を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800076	自転車		当該製品で走行中、転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800086	自転車		当該製品で走行中、チェーンが外れ、転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800127	電動アシスト自転車		当該製品で走行中、当該製品のサドル部が破損し、壁に衝突、首を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800128	電動アシスト自転車		当該製品からバッテリーを取り外して充電中、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故

表3 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋（その2）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201800200	自転車		当該製品で走行中、チェーンが外れ、転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800232	電動アシスト自転車		使用者（60歳代）が当該製品で走行中、当該製品のハンドルがロックし、転倒、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800250	電動アシスト自転車		店舗の駐輪場で当該製品のバッテリーを焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800275	自転車		当該製品で走行中、トップチューブ及びダウンチューブが破断し、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800292	自転車	サイクルヨーロッパジャパン株式会社（輸入事業者）	当該製品で走行中、当該製品のフロントフォークが破断し、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201800295	電動アシスト自転車		当該製品のバッテリーを充電中、当該製品のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800311	電動アシスト自転車		当該製品をこぎ始めたところ、ブレーキが解除されず、転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800340	自転車		当該製品で走行中、フロントフォークが破断し、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800353	電動アシスト自転車		当該製品で走行中、当該製品のハンドルがロックし、転倒、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800359	電動アシスト自転車		当該製品のバッテリーが破裂する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故

表4 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋（その3）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201800362	自転車	株式会社カインズ （輸入事業者）	当該製品で走行中、前輪がパンクし、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201800375	自転車	株式会社あさひ （輸入事業者）	当該製品で走行中、上パイプ及び下パイプが破断し、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201800379	折りたたみ自転車	パール金属株式会社 （輸入事業者）	当該製品で走行中、ハンドルの付け根の部品が破損し、転倒、右手指を負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201800425	自転車		当該製品で走行中、ブレーキを掛けたところ、転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800446	自転車		当該製品で走行中、ハンドルステム部が脱落し、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800490	電動アシスト自転車		当該製品のバッテリーを焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800491	自転車	株式会社エイチーム （輸入事業者）	当該製品で走行中、サドルが脱落し、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故
A201800524	自転車		当該製品で走行中、転倒し、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800586	自転車		当該製品で走行中、フロントフォークが破断し、転倒、負傷した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800589	折りたたみ自転車	株式会社紀洋産業 （輸入事業者）	当該製品で走行中、当該製品の折りたたみヒンジ部が破断し、転倒、負傷した。現在、原因を調査中。	製品起因が疑われる事故

表5 消費者庁公表自転車関連製品事故情報抜粋（その4）

管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
A201800623	自転車		当該製品で走行中、フレームが破断し、転倒、胸部を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800690	電動アシスト自転車		当該製品で走行中、当該製品のサドル部が破損し、転倒、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800728	自転車		当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800760	電動アシスト自転車		当該製品で走行中、転倒し、頭部を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故
A201800807	電動アシスト自転車		当該製品からバッテリーを取り外して充電中、当該製品のバッテリーを焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	製品起因か否かが特定できていない事故